

## 授業の指導法・教材・普段大切にしている工夫点

平成27年度認定CST  
飯能市立南高麗中学校 教頭 島田 広彦

そもそもの考え方  
「視点」・・・

▶この世のあらゆるモノは、理科でできている。

## 解説の柱

- ▶①これから流れる水の働きを指導する先生へ
- ▶②思考のキャッチボールについて
- ▶③理科が得意なあなたへ

①これから流れる水の働きを指導する先生へ

▶河川は、人間によりコントロールされているという事実

①これから流れる水の働きを指導する先生へ



熊谷市上空

①これから流れる水の働きを指導する先生へ



熊谷市内  
星川

①これから流れる水の働きを  
指導する先生へ

- ▶「取り組ませる視点」  
どうして今はそのような川に  
なってしまったのか。  
→仕組みについて考える

①これから流れる水の働きを  
指導する先生へ

- ▶「取り組ませる視点」  
今の川のままでよいのか  
→「本当にそれでいいのか？」

①これから流れる水の働きを  
指導する先生へ



①これから流れる水の働きを  
指導する先生へ

- ▶「取り組ませる視点」  
想定外にならないように  
想定を繰り返す  
→日本のどこにいても・・・

②思考のキャッチボールに  
ついて

- ▶自分の考えを整理する
- ▶自分の考えを説明する
- ▶わからない児童生徒から先に「わからないこと」を説明する
- ▶わかる児童生徒は説明を聞いてから「わかるように説明する」

②思考のキャッチボールに  
ついて



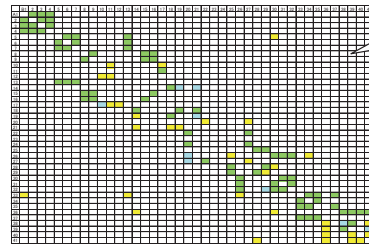
## ②思考のキャッチボールについて

表の見方

	1	2	3	4
1				
2				
3				
4				

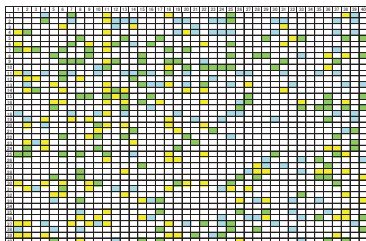
1の児童は、2の児童に**教えた**。  
 3の児童には**教えてもらった**。  
 4の児童とは**教えた・教えてもらったの両方**がある。

## ②思考のキャッチボールについて



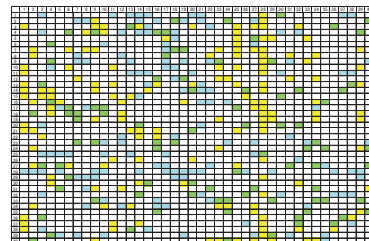
班で話合いのクラス

## ②思考のキャッチボールについて



思考のキャッチボールをしたクラス

## ②思考のキャッチボールについて



思考のキャッチボールをしたクラス

## ②思考のキャッチボールについて

	教えた	教えてもらった	両方	合計	人数
CB A	108	119	130	357	40
CB B	136	157	90	383	40
WB A	9	32	81	122	41

思考のキャッチボールのクラス (CB) の方が、班で話したクラス (WB) より、両方で教えている。

## ②思考のキャッチボールについて

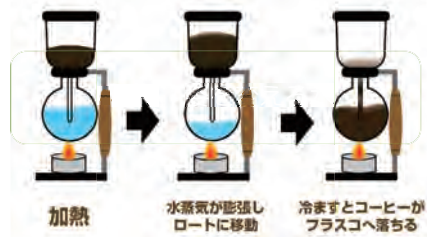
▶「わかったふり」「知ったかぶり」をさせない仕組み

→「わからないと言える」授業規律の形成がとても大切

③理科が得意なあなたへ

- ▶好きだからこそ、  
上手な伝え方を

③理科が得意なあなたへ



③理科が得意なあなたへ

- ▶好きだからこそ、  
安心できる理科を